

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要

司会（木村課長）	<p>ただいまから、令和3年度久喜市環境監査委員会を開会させていただきます。</p> <p>本日の進行役を務めさせていただきます、環境課長の木村と申します。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日は萩原委員からご欠席の連絡をいただいております。ただいまの出席委員は4人でございまして、定員5人の2分の1を超えております。</p> <p>久喜市環境監査委員会運営規則第3条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>会議に入ります前に、本日の配付資料を確認させていただきたいと存じます。</p> <p>なお、配布資料を本日ご持参いただきますようお願い申し上げたところですが、お持ちいただいておりますでしょうか。</p> <p>（全員資料を持参していることを確認）</p> <p>それでは、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>初めに、本日の会議次第でございます。</p> <p>資料1から5までございまして、資料1「久喜市環境基本条例」資料2「久喜市環境監査委員会運営規則」資料3「久喜市環境監査委員会委員名簿」資料4「久喜市の環境（案）令和3年版」最後に資料5といたしまして「久喜市の環境（案）令和3年版の指標一覧表」以上でございます。不足はございませんでしょうか。</p> <p>続きまして、会議の開催にあたり、皆様にご了承いただきたいことがございます。会議の内容につきましては、会議録を作成して公開することとしております。</p> <p>そのため、会議の録音及び写真撮影につきまして、あらかじめご了解をいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>本日は傍聴の方がいらっしゃいませんことをご報告いたします。</p> <p>それでは次第2「委員長あいさつ」でございます。</p> <p>大豆生田委員長からごあいさつをお願いしたいと存じます。</p> <p>委員長よろしくお願いいたします。</p>
大豆生田委員長	<p>こんにちは。本日はご出席いただきありがとうございます。</p> <p>本日もコロナ禍の中での会議開催になりますので、効率よく有効な会議にしたいと思います。</p> <p>今回、久喜市の環境を確認したところ、市の活動の中にもコロナ禍の影響が出ていることが見受けられました。また、そういった中でも引き続き、久喜市が環境保全活動を確実に進めていることも確認することができたと思います。前回もお話ししましたが、久喜市はこれまでもEMSを積極的に運用しており、とても素晴らしいことだなと思います。それではよろしくお願いいたします。</p>

司会（木村課長）	<p>ありがとうございました。続きまして、議題に入ります前に、事務局職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>（事務局職員紹介）</p>
司会（木村課長）	<p>それでは、これより議事に入りたいと思います。</p> <p>会議の進行につきましては、久喜市環境監査委員会運営規則第3条第1項の規定に基づきまして、委員長に議長をお願いしたいと思います。</p> <p>大豆生田委員長、よろしく願いいたします。</p>
大豆生田委員長	<p>それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>円滑な議事が進行しますように皆様のご協力をよろしく願いしたいと思います。</p> <p>例年と同じように、既に配布してあります「久喜市の環境」令和3年版、この内容に関して、ページをめくりながら、疑問、それから質問事項や確認事項について皆さんからのご質問を受けていきたいと思っています。</p> <p>最初に、総説のところ、ページでいえば12ページまでのところで何かございますでしょうか。</p> <p>（意見なし）</p> <p>次に、第2章の環境目標のⅠからⅡ、31ページまでのところでもしご質問がありましたらお願いいたします。</p>
田中委員	<p>15ページの緑のカーテン設置施設のことなのですが、久喜地区では15か所ありますが、栗橋とか鷲宮では少し数が少ないんですね。ですから、今後これを増やしていくという考えはあるのかお伺いしたいと思います。</p>
川村補佐	<p>本市としては、緑のカーテンは、公共施設の緑化の有効な手段として、重要な役割を持っていると認識しています。緑のカーテンを設置する原資の部分は、緑の募金を実施することによって得られる交付金ですので、まずは緑の募金を積極的に周知し、募金額を集めることで、交付金を確保し、今後も緑のカーテンを拡大していけたらと考えております。</p>
大豆生田委員長	<p>指標の中で17ページに「グリーン購入の推進」があり、これはもうずっと決まった形で推進していると思いますが、令和2年度が76%と大分落ちてしまっていますが、これは何でしょうか。</p>
川村補佐	<p>グリーン購入については、EMS対象の一般事務は、例年と比べ大きな変化はなかったんですけども、特に小中学校において、いささか数値が低かった部分があると認識しています。今後積極的な推進について周知を行っていきたくと思っています。</p>
大豆生田委員長	<p>少し難しい話になりますが、19ページを中心に地球温暖化の話をしたいと思っています。久喜市としてはゼロカーボンシティを目指していると思いますが、その言葉が「久喜市の環境」には用語解説以外に出てこなかった。もう一つ、カーボンニュートラルという言葉</p>

も昨年から出てきていますが、この考え方が、行政の中にどう取り入れられるのか、この辺について教えてください。

川村補佐

カーボンニュートラルもゼロカーボンも、意味合いとしては、排出する温室効果ガスと緑によって吸収される温室効果ガスが差し引きでゼロになるという考え方ですので、言葉は違いますが、考え方は同じであると認識しています。また、私どもとしても、今年度ゼロカーボンシティ宣言をいたしましたので、今後はゼロカーボンシティを目指した具体的な政策を打ち出していけないとけないと考えております。このような中、今年の1月に庁内横断的な会議体として、「ゼロカーボンシティ推進本部」を市長を本部長にして立ち上げまして、これからはトップダウンでゼロカーボンシティの実現に向けた政策を行っていきたいと思います。

また、最初の話に戻りますが、「久喜市の環境」に「ゼロカーボンシティ」の考え方の記載がないという部分については修正したいと思います。

大豆生田委員長

わかりました。また、地球温暖化に関連しますが、19ページの情報提供、温室効果ガスに関連する情報の提供ということですが、簡単に1年間の広報紙を覗きましたが、お隣の資源循環推進課のやっている新ごみ処理施設について、6回ほど連載があったくらいで、これくらいしか見当たらなかったのですが、情報提供はどのように行っていますか。

川村補佐

「久喜市の環境」の本文では「夏のライフスタイルキャンペーンにご協力を」と「地球温暖化防止に向けた市の取り組み結果をお知らせします」のみが掲載されていますが、その他にも緑の推進員や苗木配布のイベント、環境学習の周知に関する広報を行っております。

ただし、これらの広報は以前から実施していた内容ですので、ゼロカーボンシティ宣言を行った中で、これまでと同じ内容の広報で十分なのかというご指摘であれば、それはおっしゃるとおりだと思います。さらに情報提供が充実するよう努めてまいりたいと思います。

大豆生田委員長

「地球温暖化防止に向けた市の取り組み結果をお知らせします」はいわゆる結果の報告なので、啓発とは方向性が違いますよね。

ぜひその辺を前向きに、PRを含めた形で考えていただけたらと思います。

深原副委員長

25ページ、アライグマのところですが、久喜に関してはアライグマの数がかなり増えているようです。「捕獲箱を設置しています」と書いてありますが、市民の方たちに、アライグマを見つけたらお知らせください、というようなお知らせはしていますか。

木村主幹

お問い合わせがあれば、箱わなというアライグマを捕まえるわなを貸し出すという形で対応させていただいています。

深原副委員長	この捕まえた数というのは全部捕獲箱で捕まえた数でしょうか。
木村主幹	そうです。
深原副委員長	私の知り合いでもアライグマが出たとおっしゃった方がいて、その方には市に相談してくださいとお話したので、アライグマに関しては気になっていました。やはり増えているのですね。
田中委員	私は実際に香取公園で2年で8頭、捕まえています。興味があったので他の県の事例を調べてみましたが、栃木県はアライグマを自分で処理したら3,000円、捕まえて行政に渡した場合は1,000円の報奨金を出すということを実際に行っているようです。私は環境課の方にお世話になって、自分で香取公園で捕獲したことがあるのですが、アライグマの子どもなんかは可愛いですね。小さいうちなら飼ってみたいと思うほどですが、わなに人間が近づくと威嚇して、やはり狂暴なんだと実感します。そのようにして、1頭でも捕獲していかないと、かなりの数が増えていく可能性もあります。できれば一般市民の方にも知識を持っていただいて、箱わなを使って、アライグマだけではなく、本当ならハクビシンも捕まえていただければいいと思っています。
大豆生田委員長	少し戻りますが、9ページの指標のところの不法投棄の件数ですが、計画目標値で66件以下となっていますが、これはどのような数字ですか。実態はこれよりもはるかに少ない件数のようですが、見直しはしないのですか。
山田環境保全係長	おっしゃるとおりで、この数字については見直しが必要かと思っています。今0件となっているのは、軽微なものをカウントしていないということがあると思います。目標値を立てた時点で、どういう指標でこの数字になったかというのを把握しきれていないところはあるのですが、やはり実態に即した数字にすべきだと思います。現時点では家庭ごみが道路脇に捨てられているような軽微なものはカウントしていないため、件数自体が大きなもの、例えば産業廃棄物のようなもののみをカウントしており、こういった件数になっているというのがあると思います。
大豆生田委員長	ぜひ現実的な数字で管理できたらいいと思います。
田中委員	9ページの上から2行目、騒音と振動の関係の苦情件数について、令和2年度は9件ということですが、圏央道が開通してかなり経ちますよね。私は東2丁目に住んでいますが、かなりの朝早い時間からひっきりなしです。静かだと思えば事故があるときなんですね。速度が落ちているから音がしないのです。東北道は騒音測定をしているようですが、圏央道は調査されているのでしょうか。また、夏と冬では違うと思います。冬は北風ですから宮代の方に音は流れてしまうと思いますが、季節によっては朝4時くらい、四六時中ゴーゴーと車が通過する音はかなりしますので、騒音の測定をしていただけたらどうかと思いますがいかがでしょうか。

山田環境保全係長	<p>交通騒音に関しては、国の方の5年計画で全ての道路の自動車騒音を測定するという計画が立てられております。平成29年度から令和3年度までの5年間で計画があったのですが、その中に東北道は入っていましたが、圏央道は入っていませんでした。令和4年度からの計画はまだ公表されていないのですが、ここに圏央道が入ってくる可能性はあるかなと思っています。確かに圏央道の騒音に関しては、こちらとしても懸念していることもありますので、今の時点ではご相談して頂いて、実際に測りにいくという形にはなってしまうはいますが、計画の中で継続的に測定していけるようになればいいのかなと思っています。</p>
大豆生田委員長	<p>今のところですが、59ページに記載があり、5年間で全ての道路を順番に測定していきなさいということですが、毎年測定する場所が変わっていく中に圏央道は入っていないということなのでしょうか。これは国の方で5年間に1回測定すれば良いという判断なのですか。</p>
山田環境保全係長	<p>5年間で全ての道路を1度は測定していくという形になっておりまして、5年計画で全ての道路を測定して、そのうえで要請限度というものがあつたのですが、この基準を超えているような道路には道路管理者に改善依頼を市がしたりということもあります。現在、28路線がありまして、全ての道路を見るにはやはり5年くらいのスパンが必要な状況です。</p>
深原副委員長	<p>33ページ、(6)その他ですが、「その他」が何なのかということと、鷺宮地区の今回の2件についてお聞きしたいと思います。</p>
山田環境保全係長	<p>「その他」に関しては、大気汚染、水質汚濁、悪臭、騒音・振動、不法投棄に区分できないものを入れさせていただいておりまして、具体的に令和2年度にあつた苦情として、ダンプが入ってきて空き地に土を盛っていますが、これは許可を受けてやっているんですかとか、お隣で除草剤を撒いており、臭いがひどい、何とかしてもらえないかというようなご相談がありました。</p>
深原副委員長	<p>久喜地区の1件も同じような内容ですか。</p>
山田環境保全係長	<p>久喜地区の1件が先ほど申し上げた除草剤の関係でして、鷺宮地区の2件が先ほどのダンプが土を盛っているという件と、産業廃棄物のようなものが不適正に管理されているというようなご相談をいただいたものです。</p>
大豆生田委員長	<p>35ページですが、「監視体制」のところでは微小粒子状物質(PM2.5)と書いてありますが、「久喜南中学校の測定内容」のところでは、PM2.5とのみ書いてあり、表現が統一されていないようです。</p> <p>また、53ページのPM2.5の「監視体制」ですが、解除の判断の部分の表現が昨年と変わっています。インターネットで調べた限りでは、今年の表現の方が正しいようです。良い意味で県の環境課の指導が反映されているなと感じました。</p>

深原副委員長	49ページの(3)光化学スモッグの発生しやすい気象条件ですが、表の「風」のところは、「朝方に北よりの弱い風が吹き」となっていますが、前は「朝方に北よりの弱い陸風が吹き」と書いてありました。このように変えた理由はあるのですか。
山田環境保全係長	改めて確認したところ、昨年までの表現が誤っており、正しい表記に変えさせていただきました。
大豆生田委員長	同じところで、昨年まであった「大気安定度」を外した理由は何でしょうか。
山田環境保全係長	県の表記に「大気安定度」の項目がありませんでしたので、同じように市も削除いたしました。
深原副委員長	51ページの下の方に②特定施設に係る各種届出の令和2年度ということで、「大気関係」の設置が1件ありますが、令和元年度を見ますと、設置が2件になっています。これは設置が減ったということでしょうか。
山田環境保全係長	今年新たに設置をしたという届出が1件あったということです。
大豆生田委員長	水環境の保全、70ページの「COD(科学的酸素要求量)」という表記になっていますが、これは「科学」ではなく「化学」です。
山田環境保全係長	失礼いたしました。
田中委員	112ページの(5)ポイ捨て等及び路上喫煙防止対策事業ですが、環境課の方が月2回、回っているとのことですが、最近、新型コロナウイルスの感染が広まってからは、使い捨てマスクを路上に捨てていく方がおられるようです。先日、カメのお腹からマスクが出てきたという報道があったように、これは海洋汚染にまでつながっている問題です。ですから、地域住民も含めてみんなで回収するようアピールするなり、マイクロプラスチック問題と同じように取り組んでいかないといけないと思います。
山田環境保全係長	おっしゃるとおりで、環境保全巡視員も週2回、駅前をパトロールしていますが、やはりここ2年、マスクのポイ捨てがとても増えたという話を聞いております。毎日皆さんが使っているため、どうしてもポイ捨てが増えてしまう状況だと思います。また、去年、一昨年とごみゼロ運動もできていない現状もありますので、何か新しくPRする方法を検討していく必要があると思っております、今後の課題だと認識しています。
大豆生田委員長	114ページからのEMSの話ですが、環境課の事務分掌の中で「5 環境マネジメントシステムに関すること」とありますが、EMSの事務局が環境課にあるということよろしいですか。
川村補佐	はい、そうです。

大豆生田委員長	システムは随分前から独自での運用になっていますけれども、これはISO14001の2015年度版でしょうか。それともそこまではやっていないのでしょうか。
川村補佐	2015年度版が公表されたときには既に独自のEMS運用となっていました。
大豆生田委員長	EMSの例えば内部監査のようなことはやられているのでしょうか。
川村補佐	内部監査は年1回行っております。令和2年度のやり方ですが、内部監査員はISO14001の外部研修を受講した職員が任命され、実行部門の半数を対象としています。
大豆生田委員長	内部監査員は何人いるのですか。
川村補佐	1回の監査で任命される内部監査員は14名です。
大豆生田委員長	内部監査結果のフォローや内部監査指摘事項をどのように活かしているのですか。
川村補佐	評価基準はAが最も良いA、B、Cの3段階であり、BやCがあったときには改善記録書、指摘是正書といったものを作り、内容を組織全体で共有することで改善をするという仕組みになっています。
大豆生田委員長	マネジメントレビューのアウトプットとして、トップである市長がどのようなアウトプットをしているか聞きたいのだけれども。
川村補佐	年1回、「環境管理委員会」というものがあり、その中でEMSの実施報告があります。令和2年度は書面開催で行いましたが、特段の指摘はなく、最高責任者の見直しでも「変更の必要はない」となりました。
大豆生田委員長	114ページの②一般事務のところでは目的・目標が出ていますが、この目標値の数字をみると、数値が増加するものもあるようです。EMSの目標値の決め方を知りたいのですが。
川村補佐	EMSの目標設定の元となるのは、平成29年度に定められた「第2次久喜市環境保全率先実行計画」という計画です。この計画では基準年度である平成25年度から令和4年度に向けた目標値を定めており、電気、ガス、灯油、重油、ガソリン、軽油、水道使用量、コピー用紙購入量など、EMSで取り組む内容は、この計画の中で定められています。最終年度である令和4年度に計画の目標値を達成できるように、段階的に年度別のEMSの目標を定めております。
大豆生田委員長	115ページの「2 取組結果」ですが、一番気になったのは「しみん農園管理・運営事業」です。これが×になってしまっていて、

おかしいなと感じたのは、しみん農園の目的が「しみん農園を貸し出すことにより、景観形成や、環境負荷を低減することができる」となっていることです。貸付の契約件数が足りず目標達成しなかったようですが、そのような目的を当てはめるのは難しいのではないのでしょうか。

川村補佐

「しみん農園管理・運営事業」はEMS上では「環境保全事業」という位置付けで、目標値を設定しているものです。「環境保全事業」がどこから来ているかという話になりますが、これは「環境基本計画」の中で目標値を定めているものです。この指標が適正かどうかという点は計画の進捗管理をする中で明らかになってきた部分であると思いますので、今ご指摘の内容も含め、現在策定中の次期環境基本計画の中で、指標を全て見直し、見直した結果をEMSに反映するよう考えております。

大豆生田委員長

しみん農園の貸付を増やそうという目的が、景観形成ではなく、環境に関する意識の向上というような意識付けにすればよろしいかと思えます。他によろしいのでしょうか。

それでは以上をもちまして議事のすべてを終了いたしましたので、これにて議長の任を解かせていただきます。

どうもありがとうございました。

木村課長

ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、慎重なご審議を賜りまして誠にありがとうございました。

それでは、閉会のあいさつを、深原副委員長からお願いしたいと存じます。深原副委員長、よろしく願いいたします。

深原副委員長

本日は長時間に渡りまして、ご審議いただきありがとうございました。お疲れさまでした。

令和3年度久喜市監視環境監査委員会、これをもちまして閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和4年3月17日

久喜市環境監査委員会委員長 大豆生田 章